

IMMS 導入簡易チェックシート

: IMMS 導入で成果が出る水準 : IMMS 導入の最低ライン : 事前準備が必要

○作業場管理 →以下に整理整頓しているか

- A) 全社活動として整理整頓が実行されている。
- B) 現場活動として整理整頓が実行されている。
- C) 整理整頓が不十分である。

○在庫管理（部品・材料） →過不足が無いように管理されているか

- A) 在庫の下限と上限を設定して在庫数が見える化されている。
- B) 在庫の下限を設定して欠品を防いでいる。部品・材料購入情報が集約できている。
- C) 月末の棚卸をしないと在庫数量を把握できない。部品・材料購入情報が集約できていない。

○受発注管理 →受発注を都度把握できているか、在庫管理に繋がっているか

- A) 受注情報、出庫情報、在庫情報が共有されている。
- B) 受発注を都度把握できている。
- C) 受発注が成り行き管理となっている。

○生産計画（小日程） →計画を明確に立てて生産しているか、計画的に生産できる体制になっているか

- A) 現場管理者が工場全体（全工程）の計画を現場と共有、柔軟に修正、変更している。
- B) 現場管理者が工場全体（全工程）の計画を立て、その後は現場が独自に修正、変更している。
- C) 計画がなく、最初の工程に納期を表記した作業指示が届くだけである。

○工程管理（作業指示） →生産の状況・進捗が把握できているか

- A) 作業指示では、作業開始時間と完了時間、生産量を伝えている。
- B) 作業指示では、作業開始時間と生産量を伝えている。
- C) 今、現場で何が製造されているか把握できず、今日の出来高もわからない。

○トレーサビリティ

- A) 受注情報、進捗情報、在庫情報が共有されている。
- B) 作業は図面と作業指示票、出庫票/移動票で行われている。
- C) 作業は図面と作業指示票で行われている。

○品質管理（検査）

- A) 検査結果をフィードバックして品質改善へつなげている。
- B) 出荷検査に加えて工程内検査や自主検査をやっている。
- C) 検査は出荷検査のみである。

○社内の IT 化

- A) 社内全般の業務の管理を IT ツールで行っている
- B) 生産管理/工程管理をソフト或いはエクセルで行っている
- C) 経理処理や納品/請求書などの印刷・管理以外に IT ツールは使用していない

○人材、社員の意識

- A) 業務改善に対しての報奨制度が有る
- B) 自己啓発・教育・訓練制度、或いは補助制度が有る
- C) 特別な教育・訓練制度が無い

○経営改善の指標

- A) 経営改善のために必要な指標と重要度・優先順位を理解している
- B) 生産効率改善のための指標が判っている
- C) 生産効率改善の指標・指標を算出する仕組みが備わっていない

項目	判定(,,)	Point	備考
作業場管理			
在庫管理			
受発注管理			
生産計画			
工程管理			
トレーサビリティ			
品質管理			
人材、社員の意識			
経営改善の指標			
合計			

※ A=2点、B=1点、C=0点

●合計点集による判定

- ◎15点以上: IMMS 導入で成果が出る水準
- ◎8点以上: IMMS 導入の最低ライン
- ◎7点以下: 事前準備が必要